



かまくら 認知症 ネットワーク

題字 古川茂明

- 会報号外
- 2014年3月16日発行
- 編集発行人
一般社団法人かまくら認知症ネットワーク
〒247-0056鎌倉市大船1-22-2-402号
- TEL0467-47-6685
- 郵便振替
00240-8-140587
- 編集責任者 稲田秀樹

認知症の人のソフトボール大会「Dシリーズ」開催！ 全国の認知症の人たちとソフトボールを通じて交流深めました

3月16日（日）、静岡県富士宮市の県営ソフトボール場で、大阪、奈良、和歌山、愛知、神奈川、静岡の各県府から約50人が参加して東日本チームと西日本チームに分かれ、認知症の人のソフトボール大会『Dシリーズ』が開催されました。鎌倉市からも認知症の本人2名と支援者ら7名が参加し、楽しく熱い戦いを繰り広げました。



初めに、鎌倉から参加した選手が開会宣言を行って大会の幕が開きました。続いて、3人の選手による選手宣誓があり、Dシリーズ実行委員会の渡辺委員長が「素晴らしい富士山の下で、怪我のないよう注意し、楽しくプレイしましょう」と呼びかけてプレイボール。試合は事前の予想を覆して、認知症の人が闘志あふれるプレーを連発、ときおり笑いを誘う珍プレーも見られました。



試合の前日には球場近くのデイサービス施設で懇親会が行われました。懇親会で挨拶をした須藤秀忠富士宮市長は「観光と福祉のまち富士宮市を存分に味わってください」「この大会が発展し各地で予選が行われ、富士宮で熱い戦いと交流が行われることを期待しています」と歓迎の言葉を述べられました。その後、名物の富士宮焼きそばや地酒に舌鼓を打ちながら、各チームの選手たちの紹介も行われました。



試合にはソフトボール初体験の家族も参加、応援にも力が入りました。試合は逆転、また逆転のシーソーゲームとなり、16対17で東日本チームがサヨナラ勝ちを収め、選手同士がガッチリ握手を交わして互いのプレーを讃え合っていました。



表彰式では、東日本チームに優勝旗が手わたされました。また最優秀選手にトロフィーが渡されたほか、全員にメダルが授与されました。

